

重点施策について

「重点施策」、「重点項目」及び「現状と課題」の確認

重点施策1 自ら学び、課題解決する力の育成と小中学校の教育環境整備	
重点項目(1)主体的・対話的で深い学びの推進ときめ細やかな指導の充実	
重点項目(2)特別支援教育の充実	
重点項目(3)情報活用能力の育成とICT活用教育の推進	
重点項目(4)学校と関係機関との連携の充実	
重点項目(5)部活動改革の推進	
現状と課題	担当課
・学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の視点から「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」も重視した授業改善が求められています。実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力など」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」の三つの力をバランスよく育む必要があります。	学校教育課
・児童生徒が抱える様々な悩みや問題に対応するため、スクールソーシャルワーカー等の配置により、相談体制の充実を図ります。また、学校生活になじめず、教室に居づらい生徒の居場所をつくり、登校を支援する必要があります。	学校教育課
・特別な支援を必要とする児童生徒へ個々の状況に合わせたきめ細やかな対応を行うため、各学校においてインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進に向けた環境整備を進める必要があります。	学校教育課
・1人1台学習用タブレット端末について、授業だけではなく、学級会や学級経営での活用を図ります。また、ICTを活用した学びや支援を充実させ、児童生徒の情報活用能力の向上を図るため、指導力向上を目指した研修の実施など、教員に対する支援を継続的に行う必要があります。	学校教育課
・子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するため、地域の実情に応じながら、部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動への展開に向けた環境の一体的な整備を着実に進めることが求められています。	学習政策課

重点施策2 人生100年時代を見据えた地域の財産を生かした学習の推進	
重点項目(6)学びと体験活動を支援する体制の充実	
現状と課題	担当課
・今後、AIなどを活用したグローバル社会の進展や超スマート社会（Society5.0）の到来などが予想されます。新しい時代に求められる資質・能力を育むため、大学、企業等と連携し、社会に開かれた学習を推進することが求められています。	学び支援課
・人生100年時代をより豊かに生きるため、生涯にわたって自ら学習し、自己の能力を高め、地域や社会の課題解決のための活動につなげていくことの必要性が高まっています。	学び支援課

重点施策3 文化・スポーツを生かしたまちづくり	
重点項目(7)文化芸術を生かした地域づくり	
重点項目(8)スポーツを生かした地域づくり	
現状と課題	担当課
・本市の民俗、伝統芸能、文化を絶やさないよう、市民に価値を発信し、担い手となる人材を育成する必要があります。	学び支援課
・市民会館を拠点に様々な文化活動が行われていますが、市内での生活で文化芸術を身近に感じている市民の割合が低いことから、より身近に文化芸術に触れる機会の創出が求められています。	学び支援課
・社会状況や生活環境の変化による外遊びの減少などによる子どもの体力低下や運動する子どもとそうでない子どもの二極化が見られます。	学び支援課
・スポーツには、人々を健康で生き生きとさせる効果がありますが、スポーツを行う市民の割合が低いことから、より身近にスポーツに触れる機会の創出が求められています。	学び支援課

重点施策 4**学校、地域の連携・協働の推進****重点項目(9)コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進****重点項目(10)学校と多様な担い手との連携・協働**

現状と課題	担当課
・ これからの時代に求められる資質・能力を子どもたち一人ひとりに着実に育んでいくために、学校は家庭・地域と目標を共有し、「地域学校協働活動等の多様な教育活動が、学校の教育目標の実現に対してどのような役割を果たせるのか」という視点を持つことが重要とされています。	学習政策課
・ 「社会に開かれた教育課程」を実現するため、地域学校協働本部等の仕組みを活用し、学校・家庭・地域が連携かつ協働して、子どもたちの学びの充実を図っていくことが必要とされています。	学習政策課
・ 各学校の教育目標やビジョンを地域や保護者も共有し、実現・達成するために、「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」を両輪として、地域と学校がパートナーとして連携・協働することで、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えることが求められています。	学習政策課
・ 地域のスポーツ・文化芸術団体等と連携・協働し、地域の実情に応じながら部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動への展開に向けた環境の一体的な整備を着実に進めることが求められています。	学習政策課

「重点施策」、「重点項目」及び「主な事業」とその内容の確認

重点施策1 自ら学び、課題解決する力の育成と小中学校の教育環境整備		主な事業	内容	担当課
重点項目(1)	主体的・対話的で深い学びの推進ときめ細やかな指導の充実	教育指導体制の充実	補助教員等の配置により、個に応じたきめ細やかな指導を行い、児童生徒の確かな学力や健やかな心身の育成を図ります。	学校教育課
重点項目(1)	主体的・対話的で深い学びの推進ときめ細やかな指導の充実	相談体制の充実	専門性の高いスクールソーシャルワーカー等の配置により、各機関と学校の連携を進め、相談体制の充実を図ります。	学校教育課
重点項目(1)	主体的・対話的で深い学びの推進ときめ細やかな指導の充実	相談体制の充実	教室に居づらい生徒の居場所をつくるため、校内ハートフレンドを市内4中学校に設置します。利用状況をもとに、よりよい支援体制の整備を進めます。	学校教育課
重点項目(2)	特別支援教育の充実	特別支援教育の推進	特別な支援を必要とする児童生徒が、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援と学習の機会を得ることができるよう、学校支援体制を整え教育環境を整備します。切れ目のない支援を目指し、幼稚園・保育所等と小中学校との連携を深め、関係機関との連携を強化します。	学校教育課
重点項目(3)	情報活用能力の育成とICT活用教育の推進	子どもの学びや教員を支えるICT環境の充実	1人1台タブレット端末の整備を始め、ネットワーク環境の整備、遠隔・オンライン教育に適合したICT環境の実現や研修の実施等により、教員の指導力向上を図り、児童生徒がすべての教科でICTを活用した学習を行うことで情報活用能力を育成します。	学校教育課 学習政策課
重点項目(4)	学校と関係機関との連携の充実	学校と給食センターとの連携	教員の業務負担の軽減に向けて文部科学省が推進している、公会計制度（学校給食費を地方公共団体の会計に組み入れる）の検討を進めると同時に、各学校と給食数管理の共有を図ります。	学校教育課 学校給食センター
重点項目(4)	学校と関係機関との連携の充実	学校と図書館との連携	市立図書館と小中学校図書室のシステム連携により実現した、学習用タブレットからの図書館蔵書検索やデジタル図書の貸出を進め、ICT環境を活用した読書活動や学習活動を継続して推進します。また、配本・レファレンス・相互貸借のサービス等を提供し読書支援、学習支援の充実を図ります。	学校教育課 図書館
重点項目(5)	部活動改革の推進	部活動の地域展開	これまで長年にわたり学校単位で学校部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動について、子ども、保護者、指導者に寄り添い、本市の実情に応じながら、地域が主体となる地域クラブ活動に展開していきます。	学習政策課

重点施策2 人生100年時代を見据えた地域の財産を生かした学習の推進		主な事業	内容	担当課
重点項目(6)	学びと体験活動を支援する体制の充実	学校外での豊かな学びと体験活動の機会の提供	学校ではできない学びと体験活動事業を実施します。また、市が実施する子ども向け事業の情報をホームページ等でいつでも情報を得ることができるように提供し、学校外での多様な学びと体験活動の機会の充実を図ります。	学び支援課
		子ども企画・運営事業の開催	未来をつくる子ども条例の趣旨に則り、子ども達が企画段階から主体的に取り組み運営することにより、協調性や社会性などの自己形成を高めることのできる事業を実施します。	学び支援課
		大学等との連携による講座の開催	連携協力協定を提携している大学等と連携し、人材・資源を生かした専門性の高い講座を開催します。	学び支援課
		市民相互の学びの循環の場の提供	地域人材の発掘と「学ぶ」だけでなく「教える」生きがいを感じるができる場を提供し、市民相互の学びの循環と市民同士の交流の促進により地域の活性化を図ります。	学び支援課
		他部署等との連携による多様な学習情報の提供	市が実施する様々な講座等の情報を情報誌やホームページ等に集約して掲載することで、学びたいときにいつでも情報を得ることができるようにし、学びの機会の充実を図ります。	環境課 学び支援課

重点施策3 文化・スポーツを生かしたまちづくり		主な事業	内容	担当課
重点項目(7)	文化芸術を生かした地域づくり	文化芸術推進の仕組みづくり	市民会館を拠点として文化祭・美術展・民俗芸能発表会・音楽祭等を開催するとともに、文化芸術活動を行う様々な分野の団体が、目的を共有し、連携して活動できるよう支援します。	学び支援課
		文化芸術のアウトリーチ	学校での音楽アウトリーチ事業など、様々な場面で地域で気軽に文化芸術に触れ合う機会をつくります。	学び支援課
重点項目(8)	スポーツを生かした地域づくり	地域のアスリートによるスポーツ推進	地域のアスリートを応援するとともに、地域のアスリートによるイベント等を開催します。	学び支援課
		スポーツ推進の仕組みづくり	多様化するスポーツニーズに対応するため、スポーツ団体等が目的を共有して連携できる仕組みをつくります。	学び支援課

重点施策4 学校、地域の連携・協働の推進		主な事業	内容	担当課
重点項目(9)	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進	地域学校協働本部の運営	学校が地域と連携、協働する組織を設置し運営することで、地域全体で学校を支援し子どもたちの成長を支える活動を推進します。	学習政策課
		学校運営協議会の運営	子どもたちや学校、地域の課題とともに、どのような子どもを育てたいかといった目標を保護者や地域と共有し、学校運営に必要な支援について熟議し課題解決を目指します。	学習政策課
重点項目(10)	学校と多様な担い手との連携・協働	部活動の地域展開	子どもたちが継続してスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保するため、地域のスポーツ及び文化芸術団体など、多様な担い手と学校との連携・協働を推進していきます。	学習政策課

重点施策「指標」の確認

指標の推移

重点施策1 自ら学び、課題解決する力の育成と小中学校の教育環境整備		成果指標	設定根拠	現状値	目標値 2025年	目標値 2030年	担当課	R2	R3	R4	R5	R6
重点項目(1)	主体的・対話的で深い学びの推進と きめ細やかな指導の充実	スクールソーシャルワーカー 支援件数	スクールソーシャルワーカーが一 年間で実施した支援件数	477件 (R1実績値)	500件	550件	学校教育課	340	443	575	555	681
		スクールソーシャルワーカー 配置人数	スクールソーシャルワーカーの配 置人数	5人	6人	6人	学校教育課	4	4	4	5	5
		授業がわかりやすいと思っ ている児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果で、 「授業がわかりやすいと思ってい る」の項目に「思う」「やや思 う」と回答した児童生徒の割合	87.2% (H31実績値)	88.50%	90.00%	学校教育課	-	73.5	73.1	75.8	79.1
重点項目(2)	特別支援教育の充実	特別支援に係る補助教員の配 置割合	特別支援学級児童生徒数／特別支 援学級講師及び学級支援助員の 人数 児童生徒数(8,818人)／特別支 援学級講師及び学級支援助員の 人数(39人)→200人に1人を目 指す(8,818人／44人=200人)	39人 →5.1人に1人 (R1実績値) 39人→226人に1人 (R1実績値)	42人 →5.0人に1人 42人→210人に1人	44人 →4.9人に1人 44人→200人に1人	学校教育課	41人 →5.5人 に1人 41人→ 215人に 1人	43人 →5.6人 に1人 43人→ 207人に 1人	45人 →5.6人 に1人 45人→ 201人に 1人	50人 →5.6人 に1人 50人→ 182人に 1人	51人 →5.5人 に1人
重点項目(3)	情報活用能力の育成とICT活用教育の 推進	教員のICT活用指導力	文部科学省調査「学校における教 育の情報化の実態等に関する調 査」のうち「教員のICT活用指導 力の状況」調査の各項目で「でき る」又は「ややできる」と回答し た教員の割合	54.80%	65%	75%	学校教育課	57.38	61.57	68.05	72.93	76.27
重点項目(4)	学校と関係機関との連携の充実	紙書籍配本数	学校間の配本冊数	0	1,000	1,500	学校教育課 図書館	2,248	1,078	1,647	1,824	1,980
重点項目(4)	学校と関係機関との連携の充実	電子書籍貸出数	学校電子図書館電子書籍貸出冊数	0	430,000	480,000	学校教育課 図書館	-	-	-	227,706	414,803
重点項目(5)	部活動改革の推進	休日部活動を補完する地域ク ラブ展開数	休日に活動している部活動を補完 する地域クラブの数 (休日の活動を完全に地域展開し た場合を含む)	0	-	47	学習政策課	-	-	-	-	-
重点施策2 人生100年時代を見据えた地域の財産を生かした学習の推 進		成果指標	設定根拠	現状値	目標値 2025年	目標値 2030年	担当課	R2	R3	R4	R5	R6
重点項目(6)	学びと体験活動を支援する体制の充 実	学習の場と機会に対する満足 度	市民意識調査の設問「学習の場と 機会」で「満足」「まあ満足」と 回答した市民の割合	20.10%	21%	22%	学び支援課	20.10%	-	24%	-	23.10%

重点施策3 文化・スポーツを生かしたまちづくり		成果指標	設定根拠	現状値	目標値 2025年	目標値 2030年	担当課	R2	R3	R4	R5	R6
重点項目(7)	文化芸術を生かした地域づくり	市内での生活で文化芸術を身近に感じている市民の割合	市民意識調査の設問「あなたは、市内での生活で芸術文化を身近に感じていますか。また、市内での芸術文化活動に参加していますか。」で「身近に感じている」と回答した市民の割合	32.30%	33%	34%	学び支援課	32.30%	—	33.90%	—	36.10%
重点項目(8)	スポーツを生かした地域づくり	週に1回以上スポーツを行う市民の割合(%)	市民意識調査の設問より	30.40%	35%	40%	学び支援課	30.40%	—	35%	—	36.10%

重点施策4 学校、地域の連携・協働の推進		成果指標	設定根拠	現状値	目標値 2025年	目標値 2030年	担当課	R2	R3	R4	R5	R6
重点項目(9)	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進	地域学校協働本部の設置校	地域学校協働本部を設置している学校数	0	4	—	学習政策課	0	4	4	4	4
		学校運営協議会の設置校	学校運営協議会を設置している学校数(＝コミュニティ・スクール)	0	2	13	学習政策課	0	0	0	0	0